

4 資料の保存管理

(1) 出土品の保存管理

当センターでは、埋文センターおよび当センターが実施した発掘調査の出土品を保管管理している。センターの収蔵容量の関係で、利用頻度の低い出土資料については、旧知多高等学校の建物を利用して分散収蔵している。

なお、平成 24 年 9 月 6 日には朝日遺跡出土品 2,028 点が国の重要文化財に指定された。これら重要文化財も収蔵している。

[出土品の収蔵状況]

保管場所		収蔵遺物(箱)			備考
		土器・石器類	その他	計	
調査センター	収蔵庫 B	1,292	0	1,292	重要文化財を含む
	収蔵庫 D	10,246	0	10,246	
	特別収蔵庫	0	2,628	2,628	重要文化財を含む
	収蔵庫 E	0	2	2	大型木製品(点数)
	小計	11,538	2,630	14,168	
外部施設	旧知多高校	31,288	2,241	33,529	
合計		42,826	4,871	47,697	整理作業中の出土品を除く

・特別収蔵庫は、環境変化の影響を受けやすい木器類・金属器類・骨角器類を恒温・恒湿(20℃・60%)で保管

(2) 出土品の市町村への譲与

地元での活用を希望する市町村に対しては譲与を実施しており、平成 25 年度は西尾市へ遺物収納用コンテナにして 43 箱、安城市へ 1 箱を譲与した。

なお、これまでの累計は 8 市 1 町で、78 遺跡 9,337 箱となる。

[譲与先と遺跡別譲与箱数]

市町村名	遺跡名と箱数	遺跡数	合計箱数
西尾市	鳥羽城跡 38 箱 下山古墳 3 箱 西川原 1 号墳 2 箱	3	43 箱
安城市	惣作遺跡 1 箱 (1 点)	1	1 箱 (1 点)
合計		4	44 箱

(3) 図書資料の管理

平成 25 年度末現在で所蔵する図書数は、合計 93,138 冊であり、うち調査報告書が 63,889 冊、市町村史 1,031 冊、雑誌類 28,218 冊である。

なお、これらは研究者をはじめ一般の方々の閲覧利用も可能である。

5 普及・啓発活動と研修

(1) 資料の貸出等

出土品の収蔵は当センターが管理し、図面・写真などの記録類は埋文センターが管理している。平成25年度は出土品62件1,916点の貸出依頼、写真資料9件144点の撮影・掲載許可依頼があり、また、研究者や学生を中心に31件の資料調査依頼があった。

[主な出土資料の貸出]

申請者(施設)	使用目的	貸出資料	点数	貸出期間
愛知県陶磁美術館	常設展示	一色青海遺跡出土遺物	2	継続
豊明市歴史民俗資料室	常設展示	大脇城遺跡出土遺物	3	継続
瀬戸蔵ミュージアム	常設展示	巡間E遺跡他出土遺物	6	継続
名古屋医療センター	施設内常設展示	名古屋城三の丸遺跡出土遺物	20	継続
(公財)教・ス振興財団 (愛知県陶磁美術館)	愛知こども考古学教室	西牧野遺跡他出土遺物	50	継続
愛知県清洲貝殻山貝塚資料館	国重文指定記念展「よみがえる弥生の技」	朝日遺跡出土遺物(重要文化財)	99	3/1~5/30
瀬戸蔵ミュージアム	「赤津焼の歴史」	瓶子窯跡出土遺物	54	4/12~7/12
国立歴史民俗博物館 広島県立歴史博物館	「時代を作った技—中世の生産革命—」	桑下東窯跡、上品野西金地遺跡等出土遺物	48	6/3~11/22
静岡市立登呂博物館	「弥生の戦い~その時登呂ムラは! ? ~」	朝日遺跡出土遺物(重要文化財含む)	21	9/27~12/20
一宮市立博物館	「縄文から弥生へ~馬見塚遺跡の時代」	麻生田大橋遺跡、牛牧遺跡出土遺物	16	10/2~11/27
名古屋市博物館	「文字のチカラ—古代東海の文字世界—」	志賀公園遺跡、勝川遺跡出土遺物	10	10/10~3/2
豊田市郷土資料館	「一弓入魂~とよたの弓文化をさぐる~」	朝日遺跡、一色青海遺跡等出土遺物	14	11/25~3/11
土岐市美濃陶磁歴史館	「消費遺跡からみる美濃桃山陶」	清洲城下町遺跡、名古屋城三の丸遺跡出土遺物	130	2/28~5/11

[出土資料の撮影・掲載許可]

申請者	使用目的	許可資料	点数	許可日
松江歴史館	「銅像完成記念 戦国武将堀尾吉晴の軌跡—堀尾金助と裁断橋物語、そして松江開府の祖となるまで—」パネル展示	堀尾氏邸宅跡遠景	1	4/10
国立歴史民俗博物館 広島県立歴史博物館	「時代を作った技—中世の生産革命—」パネル展示、図録に掲載	桑下東窯跡、上品野西金地遺跡、清洲城下町遺跡出土資料	48	4/16
新泉社	シリーズ「遺跡を学ぶ」別冊04『古墳時代ガイドブック』に挿図として掲載	松崎遺跡出土釣針	1	4/23

みよし市	『新編三好町誌』に掲載	黒笹 40 号古窯跡、黒笹 G2 号古窯跡、K-G-93 号窯跡出土資料	3	6/27
名古屋市博物館	「文字のチカラ～古代東海の文字世界～」パネル展示、図録に掲載	志賀公園遺跡、勝川遺跡出土資料	10	11/13
日進市	広報番組「にっしんテレビ」で放映	金萩遺跡出土石器	5	11/15
奈良県立橿原考古学研究所附属博物館	「東海地方からの新しい風～古墳出現期の東海系遺物～」パネル展示、図録に掲載	朝日遺跡、西上免遺跡出土資料	3	12/24
碧水社	デアゴスティーニ社刊『日本の城』61号「清洲城の歴史」に掲載	朝日西遺跡、清洲城下町遺跡出土資料	2	1/15
愛知県総務部	愛知県史編さんのため	朝日西遺跡、清洲城下町遺跡、阿弥陀寺遺跡出土資料	71	3/13

(2) 学校授業への協力

県内の学校からの依頼を受けて、郷土学習の一環として、当センター職員が講師として学校に出向き、授業に協力することを行った。今年度は小学校3校で3回、中学校1校で1回、高等学校1校で2回の出前授業を実施し、高等学校2校に保管資料の貸出を行った。また、半田市教育委員会から依頼を受け、半田市内の小中学校教員を対象とした研修会で講義を行った。

[出前授業等の実施内容]

学校名	参加学年	内容	実施日
岡崎市立連尺東小学校	6年生	土器に触れる体験学習、古墳について学ぶ	4/12
豊田市立下山中学校	1年生	石器に触れる体験学習	4/26
半田市立乙川東小学校	6年生	遺物に触れる体験学習、発掘調査について学ぶ	7/11
岡崎市立下山小学校	5・6年生	石器や土器に触れる学習、火おこしを体感する。	10/22
愛知県立熱田高校	3年生	長篠の戦を通して信長の天下統一の要因を考察する 土器分類	11/11
	3年生	清洲城下町遺跡から戦国末～江戸初期を考察する 拓本	12/12

(3) 見学・研修の受け入れ

当センターでは、団体見学や職場体験学習など、7団体を受け入れるとともに、調査を実施した豊田市下山地区においては、埋文センターの協力を得て発掘調査成果報告会を開催した。

[団体見学・職場体験・研修等の利用者数]

団体名	参加人数	内容	実施日
静岡県浜松市一水会	15名	施設見学	4/10
愛知県立岡崎高校	17名	施設見学、体験学習	7/30
愛知教育大学附属高校	14名	施設見学、体験学習	8/6
考古学サマーセミナー2013	2名	施設見学、体験学習	8/7
清林館高校	2名	施設見学、職業人インタビュー	8/21
尾張地区高等学校地理歴史・公民科教育研究会	17名	施設見学、体験	10/25
愛知県立高等学校地歴科初任者研修	18名	施設見学	11/12

[発掘調査成果報告会等]

遺跡名	内容	参加者数	実施日
豊田市下山地区内の遺跡	発掘調査の成果報告と出土遺物やパネルの展示、拓本体験（下山交流館ふれあい祭）	台風接近のため中止	*10/26・27 に実施予定
豊田市下山地区内の遺跡	発掘調査の成果報告と出土遺物やパネルの展示、拓本体験（上半期報告会・下山交流館ミニふれあい祭）	100名	12/1
豊田市下山地区内の遺跡	発掘調査の成果報告と出土遺物やパネルの展示（下半期報告会）	67名	2/22

(4) 埋蔵文化財調査研究会

県内市町村・関係団体の埋蔵文化財担当職員を対象として、平成24年度に実施された発掘調査の成果を報告する埋蔵文化財調査研究会を7月6日（金）に実施し、57名の参加者があった

[調査遺跡と発表者]

遺跡名	所在地	発表者
小牧山	小牧市	小牧市教育委員会 小野友記子
寄島遺跡	安城市	埋文センター 酒井俊彦
寺部遺跡	豊田市	豊田市教育委員会 杉浦裕幸
志段味古墳群	名古屋市	名古屋市教育委員会 深谷 淳
相生塚古墳	豊橋市	豊橋市教育委員会 岩原 剛
船橋市場遺跡	稲沢市	稲沢市教育委員会 田中俊輔
トヨタテストコース関連遺跡	豊田市	埋文センター 蔭山誠一 武部真木
		調査センター 石井香代子 伊奈和彦

(5) その他の活動

① 調査センターでの展示

当センターでは、資料管理閲覧室において、見学者のための常設展示を行うとともに、春季、秋季には、ロビーの展示ケースにおいて、重要文化財の特別公開を実施した。

[調査センター見学者]

区 分		期間別見学・利用者数		見学・利用者数合計
常設展示期間	個人	1,056名	1,141名	
	団体	7団体 85名		
特別公開期間	個人	176名	176名	
	団体	0名		

[重要文化財特別公開]

イベント	実施日時	内 容	来館者数
春の特別開館2013	4/6(土)・7(日)	国重要文化財 朝日遺跡出土品の展示 火起こし体験	126名
秋の特別公開2013	11/2(土)・3(日)	国重要文化財 朝日遺跡出土品の展示 豊田市下山地区の遺跡出土品の展示 拓本体験	50名

② 埋蔵文化財展

7月20日(土)から9月1日(日)まで当センター、愛知県清洲貝殻山貝塚資料館、弥富市歴史民俗資料館の3会場において『あいち考古楽市 2013』を開催し、展示やワークショップ、講座、ツアーなどのプログラムを実施した。(主催：(公財)愛知県教育・スポーツ振興財団・弥富市教育委員会・愛知県教育委員会)

③ Web ページ

愛知県のホームページ内に開設した本センターの Web ページで、事業内容、利用案内などとともに活動報告や発掘調査速報などの情報を紹介している。

アドレス：<http://www.pref.aichi.jp/0000032060.html>

[Webの項目と更新回数]

項 目	内 容	回 数	
お 知 ら せ	特別公開、見学会などの実施予定	12	32
活 動 報 告	特別公開、見学会、出前授業などの実施報告	10	
調 査 報 告	発掘調査中の遺跡の成果報告	9	
そ の 他	入札の結果など	1	

6 施設の概要

(1) 設置時期

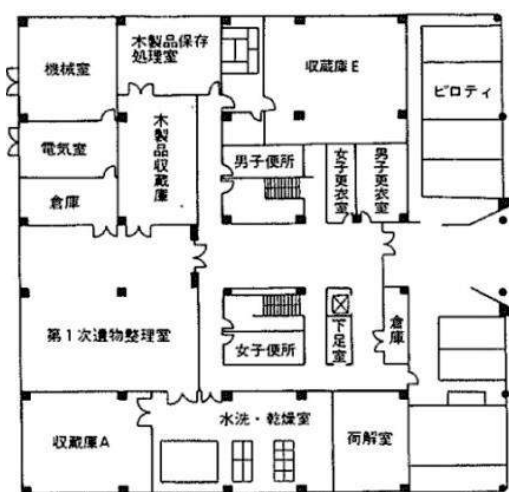
昭和 62 年 (1987 年) 12 月 1 日

(2) 施設規模

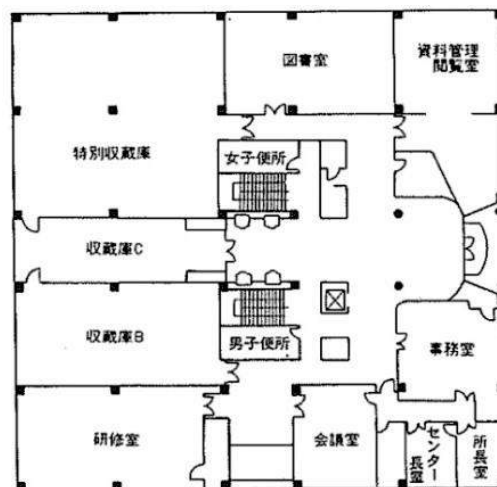
鉄筋コンクリート造 3 階建

延床面積 3,930.44 m² 敷地面積 3,300 m²

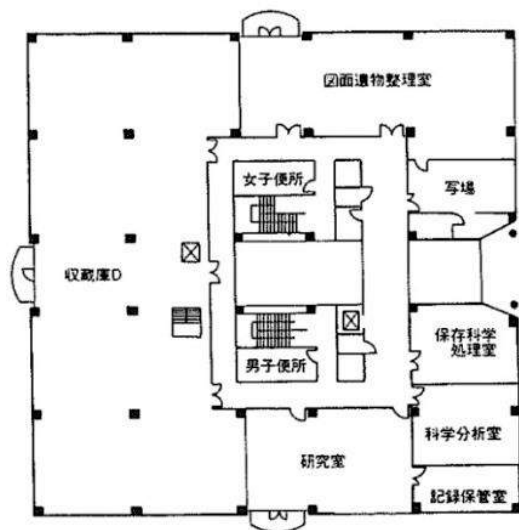
(3) 各階平面図



1 階 1,124.45 m²



2 階 1,391.46 m²



3 階 1,326.81 m²

愛知県埋蔵文化財調査センター年報（平成 25 年度）

平成 26 年 9 月 30 日

編集・発行 愛知県埋蔵文化財調査センター
〒498-0017 愛知県弥富市前ヶ須町野方 802-24
TEL 0567-67-4164 FAX 0567-65-1841
Email maizobunkazai@pref.aichi.lg.jp